参加者募集　近畿で最大といわれる

ツバメのねぐら入り観察会

目的　大空に何万羽と言うツバメが舞っていましたが音もなくヨシ原に吸い込まれます。自然のすごさを目の前にできます。毎年夏には東南アジアにわたるツバメのショウが身近でこのように繰り返されていることはあまり知られていません。ぜひ一度足を運んでください。お待ちしています。



日時　**8月9日**

土曜日　17：00～19：30

集合　近鉄向島駅改札口　17:00
解説　菊井河川レンジャー
参加費　無料
主催　木津川河川レンジャー山村武正
支援　国交省淀川河川事務所所
協力　ＮＰＯ法人　やましろ里山の会

6時55分をすぎると葦原にそびえる高圧線鉄塔上空におびただしい数のツバメが舞い上がり乱舞が始まりました。水を飲みに堤防の外側に出る群れや、急上昇する群れが入り混じり、統率がとれた群舞とはとても形容しがたい文字通りの乱舞であります。上昇した群れも広い葦原葦派らのどこかに降下してくるのかがわからないほどです。やがて葦の葉先すれすれを猛スピードで旋回飛行を始めました。その数は上昇していった数の5倍を超えています。ツバメの集団飛行は午後7時20分にはほとんど肉眼では見えなくなるほどの暗闇となていったんは終了します。
当日のツバメの終結数は3万羽以上と思われます。孵化後約100日で越冬地に旅立っていきます。その航空ショーの一端を観察しましょう。あと1～2週間で南国に旅立っていきます。



ツバメの観察会
どこからこんなにツバメが集まってくるのだろうか。宇治川の夕暮れの空に乱舞する数万のツバメの大群。
これらが宇治川の堤防すれすれに、しかも音を立てずに塒である河原のヨシ原へ飛び込む。他の所では、一寸見られない迫力ある風景です。